

五所川原市地震ハザードマップ（市浦地区版）

津波浸水予測図

○ 津波浸水予測図とは

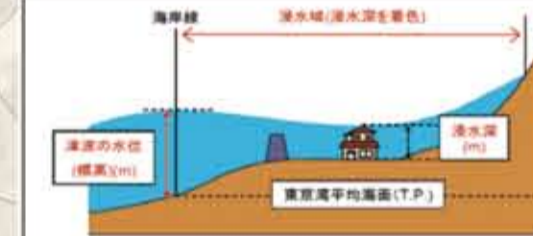
津波浸水予測図は、日本海沖で最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に、沿岸部で想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。この地図の詳細は、県庁のホームページでご覧いただけます。

【留意事項】

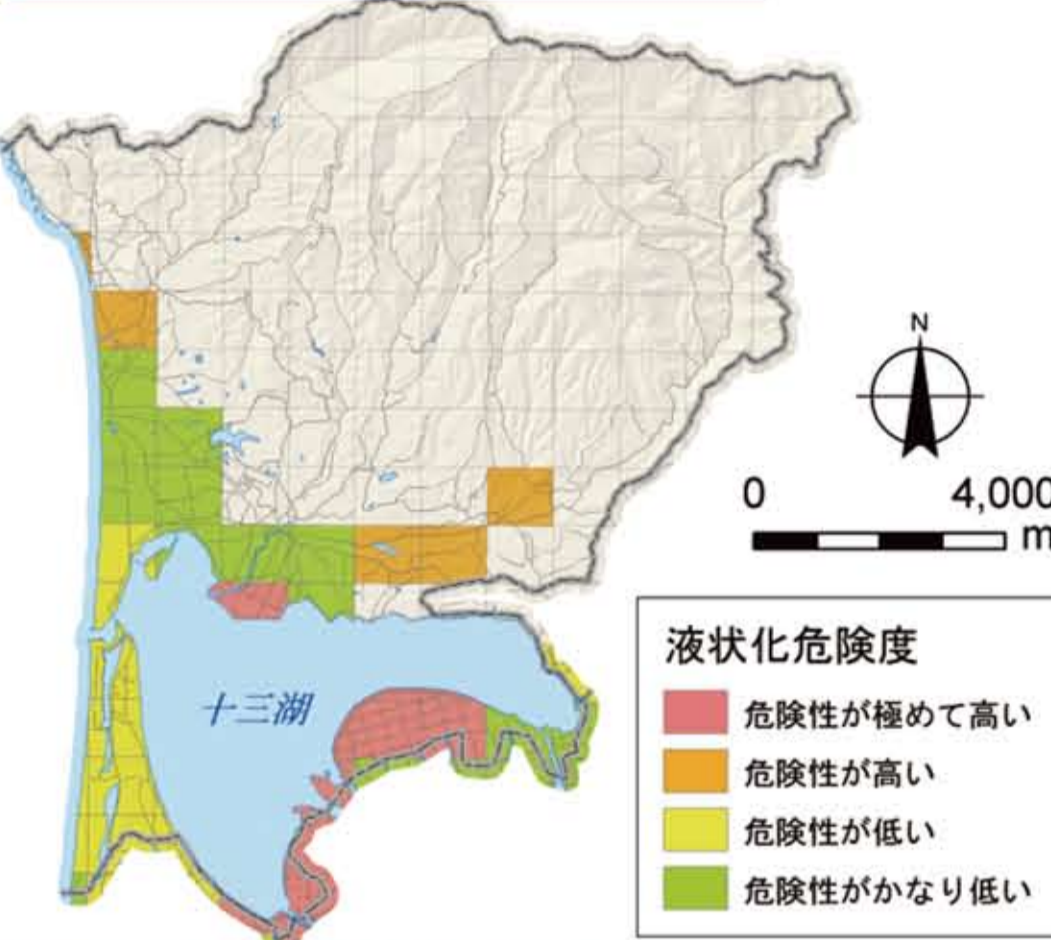
- 「津波浸水予測図」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見に基づき、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から推定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地形や建築物の影響が原因により、浸水域や浸水深の状況等に異なる計算結果となる場合があります。
- 「津波浸水予測図」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波対策を定めるためのものではありません。避難による被害の発生を抑制するためのものではありません。
- 「津波浸水予測図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変動は表示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変動することがあります。
- 今後、最新の観測や調査等により、修正の可能性がります。
- この津波浸水予測図は、国土交通省による「日本国における大規模地震に関する調査検討会」の今後の検討結果等に照らし、見直しが必要があると思われる場合は、最新モデルを見直しの上、発表することとなります。このため、今後の津波浸水予測図については、暫定的な位置づけです。

【シミュレーションの条件】

- (1) 想定津波： 1993年発生した日本海沖地震津波
- (2) 想定被害： 河川堤防、海岸堤防、防波堤、水門、防風林などの施設が津波に破壊されると同時に、施設が機能しなくなるものと想定
- (3) 浸水深： 観測平均高潮位
- (4) 浸水域： 浸水深、津波の遡上（図1）
- (5) 津波の水位： 海岸線における津波の最大高さ（標準）
- (6) 浸水深： 海岸線から陸地に津波が遡上した内陸までの範囲
- (7) 浸水域： 陸上の各地域で水深が最も高い位置にたどり着く地点から水深までの長さ



液状化危険度マップ



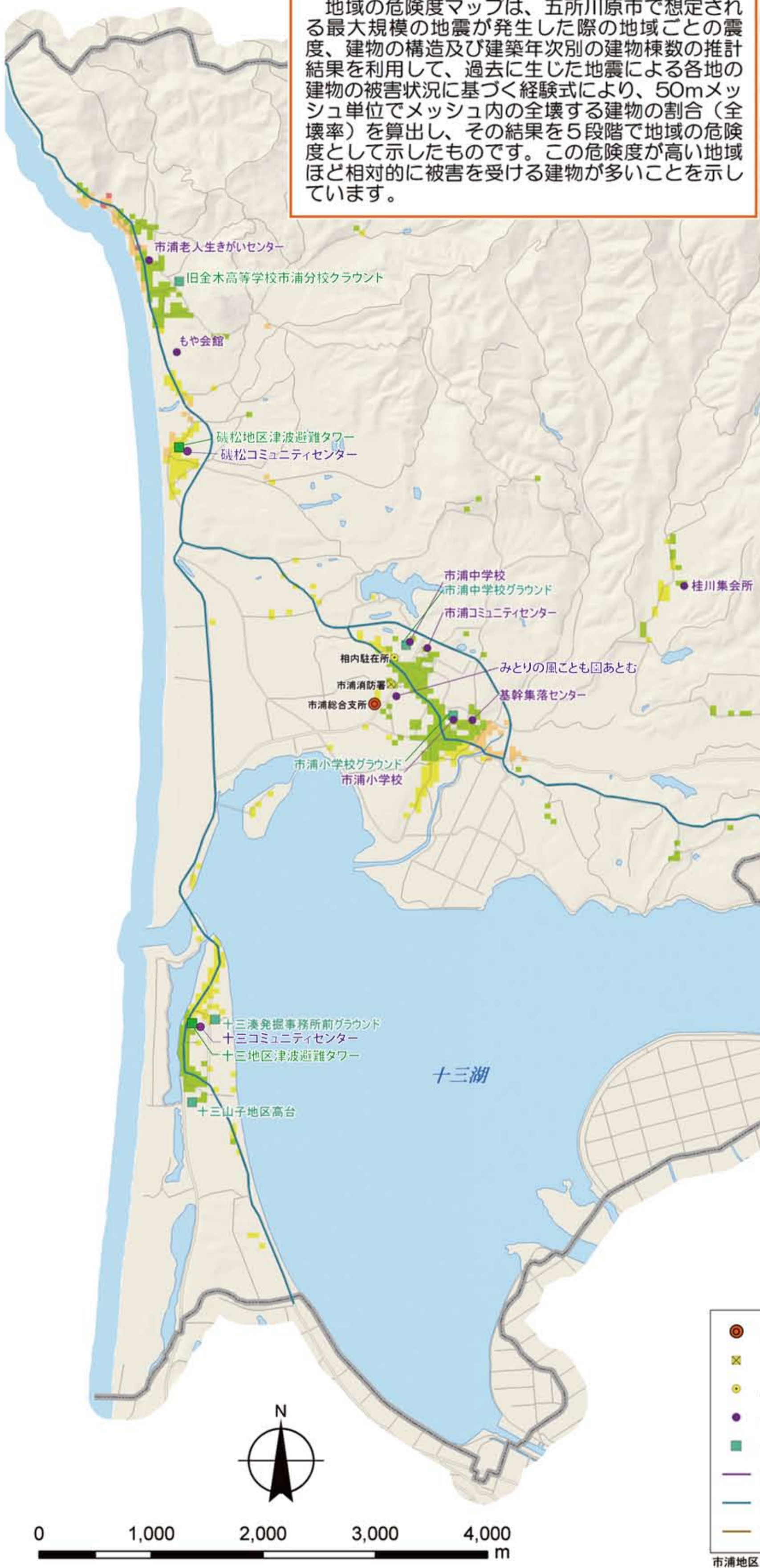
○ 液状化危険度マップとは

液状化危険度マップは、平成7～9年に実施した青森県地震・津波被害想定調査結果に基づき、大きな地震が発生した場合の表層地盤の液状化の危険性を示したものです。この地図では、市内の地盤の液状化危険度を、1kmメッシュ単位で4段階に分けて示しています。

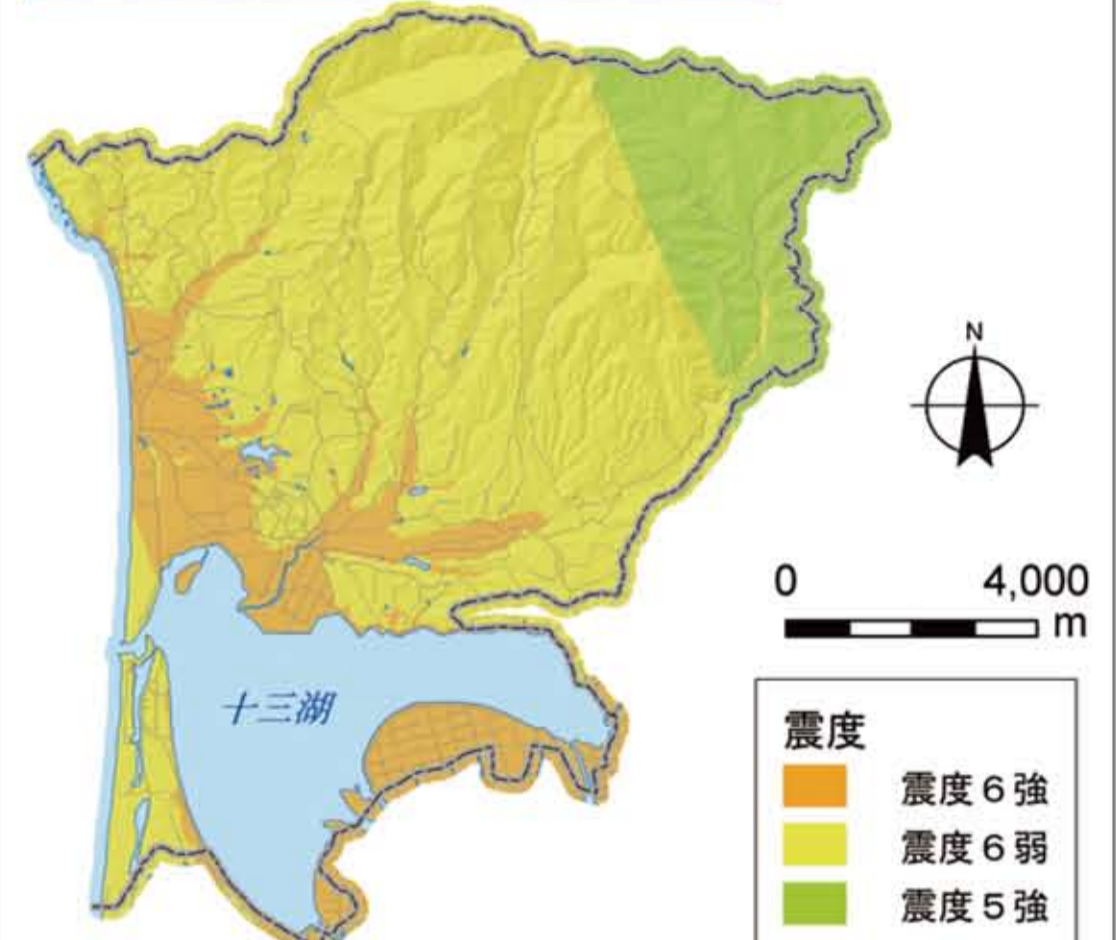
地域の危険度マップ

○ 地域の危険度マップとは

地域の危険度マップは、五所川原市で想定される最大規模の地震が発生した際の地域ごとの震度、建物の構造及び建築年次別の建物棟数の推計結果を利用して、過去に生じた地震による各地の建物の被害状況に基づく経験式により、50mメッシュ単位でメッシュ内の全壊する建物の割合（全壊率）を算出し、その結果を5段階で地域の危険度として示したものです。この危険度が高い地域ほど相対的に被害を受ける建物が多いことを示しています。



ゆれやすさマップ



○ ゆれやすさマップとは

ゆれやすさマップは、五所川原市付近を震源とする地震（地震の規模：マグニチュード7.3）が発生した場合に、市内各地域の地盤の状況から、地域の地盤の地表のゆれやすさを震度として評価し、50mメッシュ単位に表示した地図です。

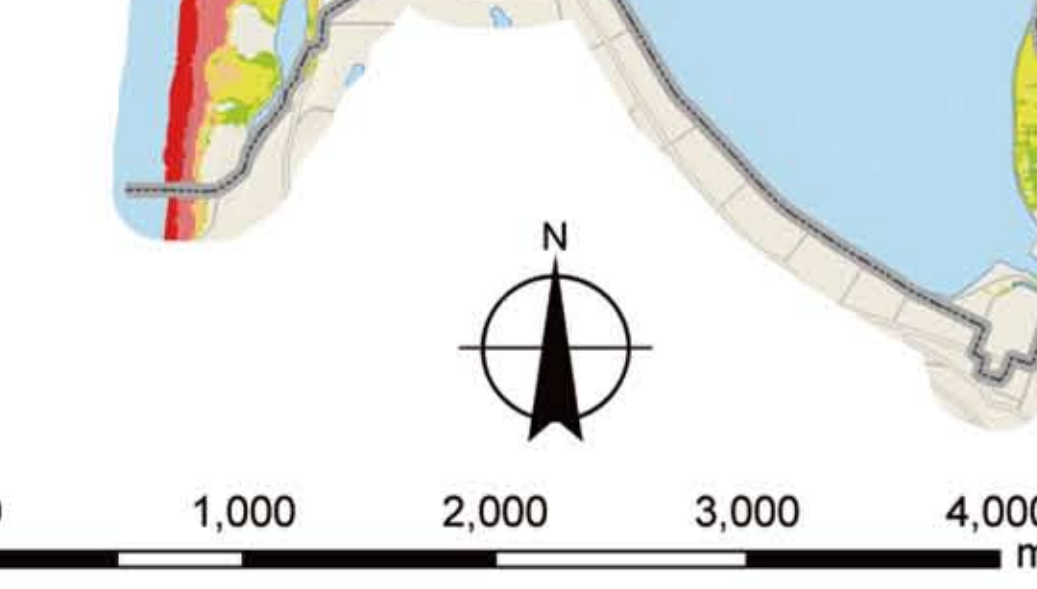
■ 避難施設（市浦地区）

番号	避難施設名
1	市浦小学校
2	市浦中学校
3	市浦コミュニティセンター
4	B&G海洋センター市浦
5	基幹集落センター
6	みどりの風こども園あとも
7	太田集会所
8	桂川集会所
9	もや会館
10	磯松コミュニティセンター
11	市浦老人生活がいセンター
12	十三コミュニティセンター

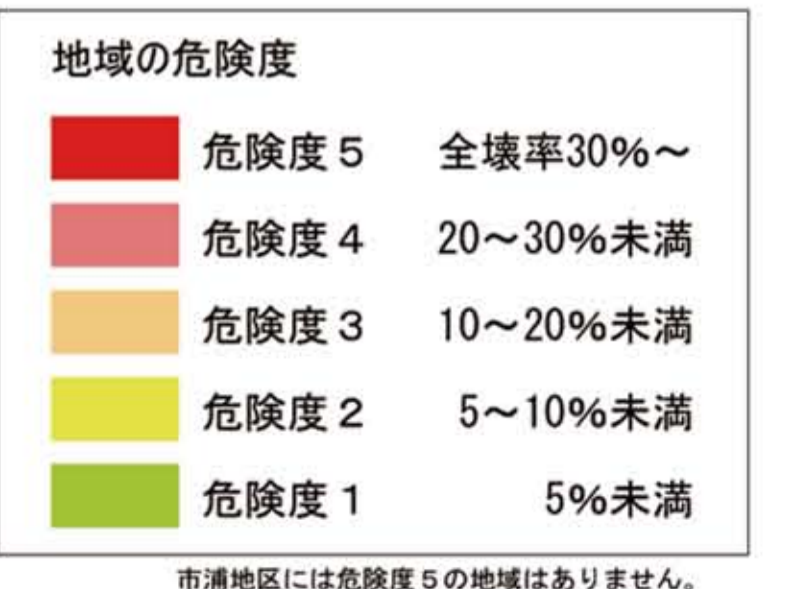
■ 避難場所（市浦地区）

番号	避難場所名
1	旧金木高等学校市浦分校グラウンド
2	十三山子地区高台
3	市浦小学校グラウンド
4	市浦中学校グラウンド
5	十三湊発掘調査事務所前グラウンド
6	十三地区津波避難タワー
7	磯松地区津波避難タワー

※避難施設及び避難場所は平成30年3月現在。



市浦地区には、第1次及び第3次緊急輸送道路の指定路線はありません。



市浦地区には危険度5の地域はありません。